

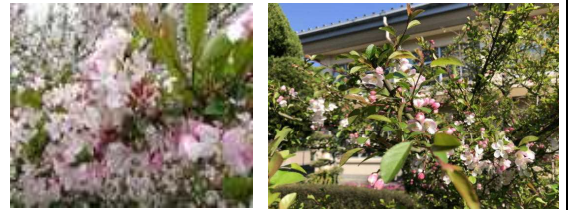


タカナベカイドウ 咲く

3月も半ばを過ぎ、明日はもう春分の日。校庭の木々の芽も少しずつ膨らみ始め、確かな春の訪れを感じる季節になりました。

高鍋東中学校の中庭では、タカナベカイドウが薄桃色のかれんな花を咲かせ、今が五分咲きです。タカナベカイドウは、高鍋町周辺の固有の花木で、町内4小・中学校にも植栽されています。東中でも毎年この時期に見頃を迎え、3月いっぱい目を楽しませてくれます。

また、自転車置き場の近くには、ヤマザクラ（宮崎県の木）が今満開を迎えています。どちらの花も、3年生の卒業や進学を祝ってくれているかのように優しく、きれいに咲いています。



感動の卒業式 84名 学舎を巣立つ

3月16日(土)に第72回卒業式を挙行了しました。これまで学校をリードしてくれた3年生84名が、1・2年生や保護者、来賓の方々に温かく見送られて巣立っていきました。

式では在校生代表の川越 佳梨 さんが送辞の中で、卒業する先輩への感謝の言葉を述べました。また、卒業生代表の西吉 葉汰くんが答辞として、先生方や友人、家族への感謝と、1・2年生の後輩たちへの思いや願いを、心を込めて一生懸命に語ってくれました。

卒業式の歌では、在校生が「あなたへ」を、卒業生が「群青」を、全校生で「大地讃頌」をそれぞれに熱唱して、式の参加者全員が感動を受け、来賓の方々からも大きな拍手をいただきました。

卒業生がそれぞれの進路で「夢中になって取り組める目標」を見つけ、強い信念で自分自身を磨き、粘り強く努力を続ける人になってほしいと願っています。84名の将来に幸多かれと、東中学校の後輩・職員一同で願っています。



好天の中で送別行事

3月8日(金)に蚊口海浜公園多目的広場で、卒業を控えた3年生のための送別行事を行いました。1・2年生が3年生を温かい拍手で迎えた後、雲一つないさわやかな青空の下で、学級対抗で「しっぽ取りゲーム」を行いました。

予選ではどの学級も声を掛け合った連携を見せ、団結力を感じられるゲームとなりました。各学年の代表チームが全力で挑んだ激戦を制し、3年2組が見事に優勝。たくさんの笑顔に包まれて、送別行事を終えることができました。また、全員での多目的広場内のゴミ拾いやトイレ清掃を一生懸命に行い、思い出に残る楽しく清々しい一日を過ごすことができました。



3年生へ最後の読み聞かせ

3月8日(金)に、夢BOOK（読み聞かせボランティア）の方々による、3年生にとって中学校最後の読み聞かせが行われました。10名の方々が約1時間、紙芝居や感動的な話、東中の先輩であるひでさんが書かれた詩など、様々な種類の本を読んでもいただきました。

その中の1冊『12の贈り物』という本には、読み聞かせの方々からのメッセージがたくさん込められていました。この本に出てきた12の言葉は、これからそれぞれの進路に向かう3年生の支えになるものでした。アンコールでは『だじゃれ日本一周』という絵本に合わせて、みんなノリノリで掛け声をして盛り上がりしました。

小学校の頃から9年間、読み聞かせの方々のお陰でたくさんの本に触れることができました。本当にありがとうございました。

